

おくたま 町議会だより



164号

平成 25 年 2 月 5 日
発行 奥多摩町議会
電話 (0428)83-2111

第1回臨時町議会

第1回臨時会が、11月30日に開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により承認又は可決しました。

専決処分

○議案第70号

東京都町村公平委員会共同設置規約の一部を変更する規約

○議案第71号

東京都町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部を変更する規約

○議案第72号

一般会計補正予算（第3号）

条例

○議案第73号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

第4回定例町議会

第4回定例会は、12月11日から18日までの、会期8日間において開催されました。

町長提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により原案のとおり可決しました。

条例

○議案第74号

議会政務活動費の交付に関する条例

る条例

地方自治法の改正に伴い、議会政務調査費の交付に関する条例が廃止され、新たな条例が制定されました。

○議案第75号

調査等に出頭した者並びに公聴会に参加した者の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例

○議案第76号

町営観光施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例

補正予算

○議案第77号

一般会計（第4号）

○議案第78号

国民健康保険特別会計（第2号）

○議案第79号

下水道事業特別会計（第2号）

議員提出議案と結果

次の議案が提出され、いずれも全議員の賛成により原案のとおり可決しました。

条 例

○議員提出議案第4号

議会委員会条例の一部を改正する条例

○議員提出議案第5号

議会会議規則の一部を改正する規則



一般質問

24年12月議会では、13日の2日目に9名の議員が質問を行いました。(通告順)

師岡伸公議員

来年度の国体開催に伴う奥多摩町の対応について

〔答〕国体開催の気運醸成を図るため、行事や町内施設でのPRを行うとともに、開催日には町の特産品や事業のPRに努めたい

師岡 国体の開催は町をアピールするチャンスであり、そのための行政としての対応、今後の具体策について問う

教育長 まず国体開催の気運醸成を図るため、デモンストレーションのスポーツ行事として、7月7日に奥多摩むかし道を会

場にウォーキングを実施するほか、せせらぎの里美術館や山のふるさと村等の施設、セラピィウォーク、納涼花火大会等の行事において、国体のPRを予定している。大会開催日には、観光案内パンフレットの配布、グッズの提供、おもてなしコーナーでの地場産材料理の提供や特産品の紹介、アロママツサージの実施による森林セラピィ事業の紹介や、郷土芸能の紹介を始めたとし町のPRに努めたい。今後も関係する団体の皆様にご協力をいただき、連携しながら啓発活動を進めて行く。

来年度予算の基本的な考え方について

〔答〕財政環境は極めて厳しい状況下にあるが、長期総合計画の実現を目指し、身の丈にあった健全な行財政運営を推進する

師岡 平成25年度予算編成の基本的な考え方について、自主財源、依存財源の見直しも含め

て問う

町長 当町の予算は自主財源である税収の割合が低く、国や東京都への財源依存率が高いことが特徴であるが、当町を取り巻く国・都の行財政環境は引き続き不透明で、税収の伸びも期待できないことから、平成25年度の当町の財政環境も極めて厳しい状況下にあるといえる。

このようななか平成25年度についても、第4期長期総合計画の目標の実現と今までの成果も踏まえながら、1として社会経済情勢を十分に見据え、限りある財源を重点的、効率的に配分して住民に密接した施策を推進し、長期総合計画「森世紀計画」の実現を目指す。2として事務事業評価の実施、財政改革の推進、組織・機構の見直し等、行財政全般にわたる改革を実施し、身の丈にあった健全な行財政運営を推進する。以上のことを基本として、予算編成を行っていく。

酒井正利議員

食糧備蓄条例制定について

（答）まずは住民の日頃の備えとしての食糧備蓄を、従来の3日分から1週間分を確保していただくよう広報していく

酒井 長期間にわたる災害に備えるため、各家庭や企業に対し食糧備蓄の推進を義務付ける、食糧備蓄推進条例の制定を提案する

町長 町では町内30か所に備蓄倉庫を設置し、食糧等の備蓄に努めてきたところであり、特にアルファ米は約4万食を備蓄しており、これは全町民の2日分の消費量にあたる。しかし、東日本大震災の経験や、広域的な連動型地震を想定すると十分とはいえず、現在、中長期的避難場所として小・中学校、及び小河内、日原の旧小学校の6か所に大型備蓄庫の設置を急がせ

ているところであり、食糧の備蓄も順次行っていきたい。また大震災を契機に、「自助」にあたる住民の日頃の備えとしての食糧備蓄を、従来の3日分から1週間分を確保していただくよう広報しているところである。

ご提案の食糧備蓄に関する条例化については、「自助に対する意識を高めるため」とする趣旨としては十分理解しているが、まずは1週間分の食糧備蓄の広報を続けていきたいと考えている。

高橋邦男議員

今後の鳩の巣荘立替え事業推進について

（答）プロジェクトチームによる検討や、専門家の意見もいたしながら基本設計案の見直し等も行っているところである

高橋 ①プロジェクトチームの検討状況は②地元住民のみなき

んの声を聴く場を設ける予定があるか③鳩の巣渓谷で営業されていた2軒の旅館も廃業し、現在その周辺も荒れ始めてきているが、対策を考えているか

町長 ①係長以下の中堅職員で組織し、この9月から月1回程度の割合で会議を開催し、鳩の巣荘を自ら経営する立場で、集客率の向上や住民の雇用の確保、他施設等との連携を図ることで町全体の観光振興につなげるためには、どのような管理体制のもとで、どのような管理運営を行えばよいのか等について検討を行っている。検討結果は、来年末を目途に提言として報告させる予定である。また、並行して「鳩の巣荘運営計画等アドバイザー委託契約」を締結し、マーケティング等の専門家の意見もいただき、併せて基本設計案の見直し等も行っているところである。

②現在行っている実施設計がまとまり次第、説明会を開催させていただき予定である。その際

にもご意見をお聞かせいただければと考えており、いただいたご意見のなかで、事業に反映できるものは反映させていきたいと考えている。

③町としても観光振興はもとより、防犯対策上も危惧しているところではあるが、いずれも民間施設であり、建物や土地について町が直接何らかの対策をとることは、現時点においてはできない状況にある。しかし、美しい地域をどのように守っていくかということについては、考えていきたいと思っている。

町教育環境アンケート調査結果を踏まえた今後の町小・中学校のあり方について

（答）庁内でプロジェクトチームを組織し諸課題の検討を行い、その中で学校のありかたを検討する委員会の構成メンバーについても、決定させていただきたいと考えている

高橋 今後の小・中学校のありかたについて、検討委員会をどのような方針で進めようと考えているか。また、構成メンバーについて問う

教育長 今後の学校のありかたを検討していくうえでは、町全体に関わる大変重要な問題としてとらえ、アンケート結果のご意見も参考としながら、また、少子化が進み児童・生徒が減少している状況を鑑み、教育委員会だけでなく町全体で早急に検討を始める必要があると考えている。検討するにあたっては、まず庁内でプロジェクトチームを組織し諸課題の検討を行い、その中で学校のありかたを検討する委員会の構成メンバーについても、決定させていただきたいと考えている。

教育委員会としては、皆様のご意見をいただきながら町一体となつて、今後のよりよい学校のありかたの方針をだし、教育環境の整備と教育体制を充実させていく。

石田芳英議員

奥多摩湖の湖面利用について

（答）湖面の利用は現時点では困難である。湖畔周辺の整備促進をお願いするとともに、引き続き要望していく

石田 奥多摩湖の湖面利用については、今までにもいろいろな働きかけがなされてきているとは思いますが、改めて現在の町の考えについて問う

町長 町では、ダム建設当時から現在に至るまで要望を続けてきたが、水質浄化技術や安全管理のノウハウ等が格段に向上したとしても、水道水の主な供給元である他県に対する説明が難しいという理由から、湖面の利用は現時点では困難であると思われる。しかしながら、東京都水道局においては、周辺住民の生活基盤の整備や観光用公衆トイレの設置、奥多摩湖いこいの

路の整備、都営水道一元化の実現等、様々なかたちで当町の行政運営にご支援をいただいている状況である。今後も都水道局に対し、いこいの路への湖上横断用の吊り橋の設置等、湖畔周辺施設の整備促進をお願いするとともに、湖面利用についても引き続き要望していく。

森林・林業について（提案事項）

（答）木質資源循環システム構築計画により研究を行っており、新たな部署の設置は考えていない。森林整備計画に沿った整備と林業振興を進めて行く

石田 ①森林・林業が経済的に成り立つ仕組みや環境づくりの検討、調査研究等、部署の設置も含め、その可能性について②獣害被害対策のため、山の高いところでは針葉樹林から落葉広葉樹、照葉樹等への樹種転換が必要では

町長 ①平成22年度に木質バ

イオマス利活用可能性調査を実施し、もえぎの湯に木質チップボイラーを導入した。また、平成23年度には木質資源循環システム構築計画を作成し、貴重な木質資源の有効活用と、木質資源を循環させた地域経済の活性化を図ることについて研究を行っている。今後の木質資源の利活用については、この計画に沿って推進していくので、新たな部署の設置については考えていない。

②奥多摩町森林整備計画では、木材の搬出が困難な立地の人工林は間伐を繰り返し、森林内の陽光の確保を図り、広葉樹の芽生えを促し育成することにより、将来的には針広混交林を目指すとしている。樹種転換については森林所有者のご理解が必要だが、地域に適した施策を行い、調和のとれた森林を目指し、森林整備計画に沿った整備と林業振興を進めて行く。

社会教育の支援について

・・・・・・・・・・・・・・・・

(答)町の教育目標達成のため、様々な支援を行っているところである。今後も町民の生涯学習の場の提供に努めていく

石田 学習の機会や情報の提供等により社会教育の振興を図り、社会教育を実践している団体等に対して、支援をなお一層厚くしていくべきである

教育長 町の教育目標である、学校、家庭、地域が連携し、誰もが生涯を通じて学び、支えあうことのできる町づくりを目指し、社会教育の面では文化・スポーツ団体等の組織の支援と活用、自主グループ等の育成と活動支援を行うとともに、活動場所の提供、情報の提供等、様々な方たちでの支援を行っているところである。今後も町民が交流を図ることができ、生涯学習の場の提供に努めていく。

原島幸次議員

通学路の交通安全対策の整備状況について

・・・・・・・・・・・・・・・・

(答)7月末までに通学路の点検を実施し、全23箇所危険・要注意箇所を確認した。既に対策実施済みの箇所もあるが、関係機関とも協議し、計画を立てて対応していく

原島 国土交通省・文部科学省・警察庁が連携して作成した、「緊急合同点検実施要領」に基づく点検実施結果と、今後の対策について問う

教育長 学校、PTA、警察、及び町職員が合同で、古里小学校区域で7月27日に、氷川小学校区域で7月30日に通学路の点検を実施した。その結果、危険・要注意箇所として、古里小学校区域で10件、氷川小学校区域で13件を確認し、11月30日に取り組み状況とともに国へ報

告した。取り組み状況としては、古里小学校区域では5件、氷川小学校区域では9件の、合計14件が国・都道関係であり、対策

実施済みの箇所が2件、本年度中に実施予定が1件、計画策定中が5件、警察へ要望するものが2件、現段階では実施できないものと不可能なものが4件であった。実施が厳しい箇所については、東京都西多摩建設事務所と、安全対策について協議を続けていきたいと考えている。

また、残る9件は町道関係となり、樹木の伐採、ミラーの設置等、実施済みの箇所が5件、翌年度施工予定が2件、その他の2件は今後計画を立てて対応していく。

高齢者に対する「手摺」の整備について

・・・・・・・・・・・・・・・・

(答)人にやさしい道づくり事業において、整備を行っている。今年度から事業費を増額し、生活環境の改善に努めている

原島 坂道等に手摺が整備されれば危険負担が軽減するので、積極的な整備を要望する

町長 平成17年度から、車道以外の坂道、階段等への手摺の設置や路盤の改修等により、身近な危険箇所を改修することを目的に、「人にやさしい道づくり事業」を実施している。この事業は自治会経由で町に申請をしていただき、町で現地調査を行い、緊急性等を考慮し順次整備しているもので、平成23年度までの7年間に39件の事業を実施した。今年度においても14自治会から28件の要望をいただいております。町道等の補修工事に該当しない10か所について工事を実施する。また、今年度から事業費を70万円に拡充し、地域の生活環境の改善に努めている。平成25年度においても、同様の規模で事業ができるよう予定している。

竹内和男議員

緑の募金による森づくり事業について

〔答〕 植栽後の維持管理費用の助成を求めることは、事業の趣旨に反するものであり、公の機関として助成する考えはない。ボランティア不足に原因があるとするれば、それを補う努力をお願いしたい

竹内 東京都農林水産振興財団の森づくり事業により植栽を行ってきたが、下刈り等の維持管理費について、行政の支援が得られないか

町長 都農林水産振興財団で扱っている植栽事業は、自主的かつ純粋な精神で、里山をきれいにしたというボランティア精神に基づき整備事業であり、植栽や整備にかかる初期費用は助成対象になっているが、その後の維持管理費用については、前

提がボランティア事業であることから助成対象外となっており、このことを十分承知のうえで事業に着手されたことと思われる。

このため、植栽後の維持管理費用の助成を町に求めることは、山をきれいにしたいというボランティア精神や、森林ボランティアを一人でも多く増やすことで国土の緑化を保全しようとしている国や東京都の事業の趣旨にも反するものである。また、維持管理費を求める理由がボランティア不足であるとすれば、当町に訪れる観光客に声掛けをし、都市住民にも里山ボランティアになっていただき、都市住民と一緒に里山を保全していくという考え方に立てば、都市との交流事業も促進され、このことが観光産業の振興にもつながり、この里山保全事業の意味がさらに生かされるものと考えられる。よって、町としても本事業の趣旨を踏まえつつ、国や都と同じ立場にある公の機関として、維持管理費を助成する考えはない。

杉村良一議員

若者定住化対策について

〔答〕 川井の分譲地は、平成25年9月ころから販売開始を予定している。若者定住化創造プロジェクトは大きな実績を上げているところであり、今後も継続して事業を実施していく

杉村 ①川井八雲神社下の宅地造成の規模、並びに完成、販売時期はいつか②若者定住化創造プロジェクトの実績と今後の方針は

町長 ①全8区画であり、1区画45坪から60坪程度を予定しており、各區画に駐車スペースも用意している。その他、上部の町道から接続する生活道路が180メートル、幅員は4メートルから5メートルとなっている。分譲地の造成は平成25年3月末に完了する予定であるが、道路の舗装とガードレール設置工

事が完了するのは6月ころの予定である。販売時期については、区画の面積算定、分筆登記、農地転用等を行い、平成25年9月ころから販売開始を予定している。

②実績としては、ソフト事業として若者定住応援補助事業、若者定住応援利子補給事業があり、ハード事業として宅地の分譲と若者用賃貸住宅の整備が挙げられる。若者定住応援補助事業では、平成22・23年度で延べ7件、1千120万円、若者定住応援利子補給事業では延べ6件、52万7千円の支援を行った。宅地の分譲では、平成18年度に柵沢地区に4区画、20年度に栃久保地区に8区画を整備し、いずれも完売している。今年度長畑地区に3区画を整備し、現在販売中である。若者用賃貸住宅の整備では、平成21年度に海沢地区に9戸整備し、現在満室となっている。今後の方針としては、過疎化・少子高齢化対策の最重要事業として、宅地の分譲事業及び新たな若者賃貸住宅の整備を位

置づけ、用地の確保や整備事業を積極的に推進していくとともに、これと並行して空家の活用についてもプロジェクトを立ち上げたところである。

須崎 眞議員

日原地区のヘリ緊急離発着場建設について

（答）東京都及び東京消防庁に対し、日原地区と小河内地区へのヘリポートの設置について強く要望しているところである。今後も根気よく要望を続けていきたい

須崎 日原地区は陸の孤島となる危険性を有しており、ヘリコプターの緊急離発着場を建設する必要があると思うが、町の考えは

町長 町としても、土砂災害警戒区域等を含む山間地において、落石やゲリラ豪雨、地震等によ

り、迂回路のない、行き止まり路線等が孤立する危険性を十分感じているところである。このため、東京都町村会、東京都町村議長会を通じて、東京都及び東京消防庁に対し、日原地区と小河内地区へのヘリポートの設置について強く要望しているところである。設置場所については、ヘリポートを活用する側と管理する側等、関係者との十分な協議により、災害及び緊急時に機能が発揮できるよう選定していきたいと考えている。特に緊急性が高い地域である日原地域、小河内地域のヘリポート設置については、早急に設置ができるよう、関係機関と協力し根気よく要望を続けていくので、ご理解をいただきたい。

宮野 亨議員

登録番号で医療情報を照会「緊急情報ネットワークス」

（答）救急キットと合わせて携

帯用のあんしんシートの普及に努め、地域の高齢者の皆様が安心してくらししていけるよう支援していく

宮野 三重県鈴鹿市では、ネットワークスの登録番号から氏名や住所、かかりつけ病院等が分かり、適切で素早い救急処置につなげられるシステムを取り入れている。当町での導入を望む

町長 当町では、平成22年度から「救急医療情報キット」の支給事業を開始し、これまでに444世帯、585名の高齢者のご家庭の冷蔵庫内に備え付けていただいている。さらに、平成24年度において「もしもの時の救急あんしんシート」についても紹介し、救急キットを備え付けている方で、希望される場合にはお配りすることをお知らせした。このあんしんシートは、救急時に活用してもよいという同意のもとに、個人の医療情報や緊急連絡先等を記入し、キーホルダー付の小型ケースに入れ、バッ

グやベルト等に付けて安心して外出できるようにするもので、東京消防庁でも認知されたものである。ご質問の鈴鹿市消防本部で導入している緊急情報ネットワークス事業については、あんしんシートと内容的には同様のものであると考えられ、当町では消防業務を東京消防庁に委託しているところから、導入にあたっては個人情報取り扱い等について、町と都との間において様々な手続きが必要になってくることから、町としてはこれまでの救急キットと合わせて、携帯用のあんしんシートの普及に努めていきたいと考えている。

一般質問欄では、質問に対する最初の町長の答弁までを掲載しています。この後、再質問が行われ、更に踏み込んだ内容の質疑が行われています。出来上がりは後日になりますが、全部の質疑内容が掲載された会議録を図書館に置きますので、ご覧ください。

議 会 日 誌

29日 地域保健福祉計画検討協議会
 30日 第1回臨時会・全員協議会
 西多摩地区消防団連絡協議会

22日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会（以下「三水協」）第3委員会
 西多摩地区議長会賀詞交歓会
 23日 東京都三多摩地区消防団運営協議会第二部会

11 月

12 月

1日 三か町村議会議員広域行政検討部会
 2日 奥多摩・檜原間林道鋸山線改修
 都道編入促進協議会

3日 身体障害者福祉協会忘年会
 4日 議会運営委員会
 11日 第4回定例会（第1日）
 12日 連合審査会

3日 文化活動奨励証授与式
 5日 西多摩地区議長会議員研修会・定例会

13日 第4回定例会（第2日）
 18日 第4回定例会（第3日）
 20日 歳末たすけあい配分会

6日～8日 東京都町村議会議長会臨時総会・現地研修会（八丈町・青ヶ島村）

7日 青梅商工会議所賀詞交歓会
 青梅警察署武道始式
 青梅警察協力3団体懇親会
 8日 町賀詞交歓会

1 月

9日 火災予防業務協力者等の表彰式
 10日 三か町村議会議員結婚部会
 11日 加藤旗争奪駅伝競走大会
 14日 町村議会議長全国大会
 西多摩地域広域行政圏体育大会
 総合開会式

12日 柔道会柔道稽古始め式・新年会
 13日 消防団出初式
 14日 成人の日の式
 16日 地域保健福祉計画検討協議会
 17日 町立小・中学校副校長辞令伝達式
 18日 議会だより編集委員会

20日 総務文教常任委員会
 24日 秋の交通安全功労者表彰式
 28日 青梅商工会議所60周年記念式典

21日 消防関係6団体合同新年会
 21日 体育協会新年会

平成25年第1回定例会
 第1回定例会（3月定例会）は、3月5日ころからを予定しています。細かい日程は防災行政無線でお知らせします。たくさんの方の傍聴をお待ちしています。

編集後記

東日本大震災から2度目の厳しい冬を避難先や仮設住宅で迎えている被災者の方々は、過酷な生活を強いられています。復旧・復興が遅々として進まない中、生活再建が一層案じられるのではないのでしょうか。時とともに震災の惨禍を忘れてきている私たちは、被災者に安心と希望をもっと与えられるのではないかと思います。

国は東日本大震災を機に、「全国地震予測地図」を2年ぶりに更新しました。当町でも「地域防災計画」の修正作業が行われました。山間部における土砂災害等による備え、放射性物質対策、自助・共助及び帰宅困難者対策等多岐にわたっています。

未曾有の大地震により日本人の意識に大きな変化が生じましたが、共に生き、絆を大切にするのは地域からで、協働の町づくりに取り組んでいきましょう。

須崎 眞 高橋 邦男
 竹内 和男
 杉村 良一 師岡 伸公